

# 出来る事からリサイクル

## ゴミを資源へ

前号では、ドイツの先進的なリサイクル方法を紹介しましたが、今号では、私たちにも身近に出来るリサイクル方法を考えていきたいと思います。

### ゴミの日と分別方法

まず、正しいゴミの出し方から調査しましょう。町内によつて、ゴミの収集日と分別方法が異なりますが、酵一郎の町内では「燃えるゴミ」「燃えないゴミ」「ビン・缶」の3種類に分けて分別収集しています。(表1)

近年、燃やせるごみに混じって捨てられる塩ビ系プラスチック製品、塩素系製品から発生するダイオキシン類は環境ホルモンとしても強い毒性を持つため、分別は注意して行いましょう。

月	可燃物
火	不燃物
水	可燃物
木	ビン・缶 (隔週でビンor缶)
金	可燃物

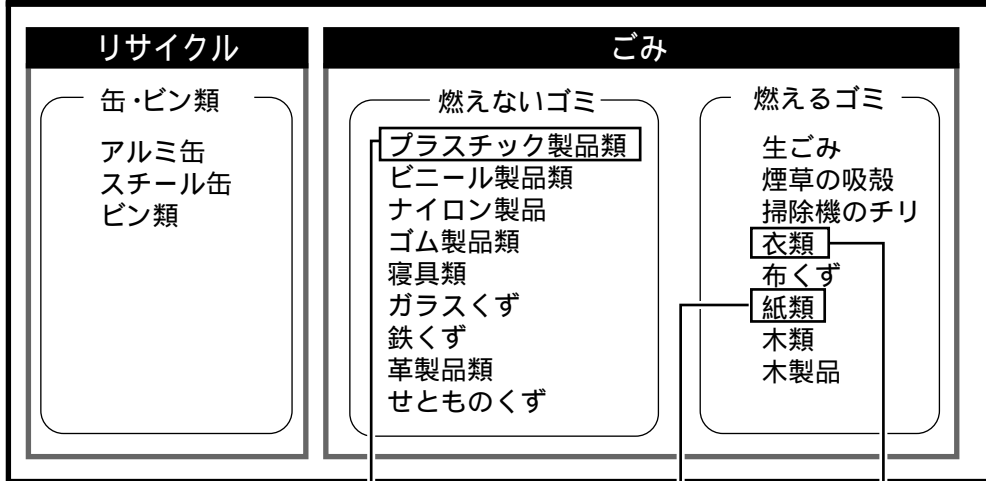
表1 ゴミ収集日

できることから始めよう

市のゴミ収集通りに分類すると、ビン・缶はリサイクルされますが、その他のリサイクル可能な資源はゴミとして処理されてしまいます。これでは、ゴミは増える一方だし、資源になるものをゴミにしないで済むため、もったいないですよ。

そこで、生協などの店頭回収ボックスや子供会の廃品回収をうまく利用しましょう。それぞれの資源回収は次の通りです。(各お店や町内により多少異なります。)

### 市が指定したごみ収集日にゴミを出した場合



最近になってリサイクルの考え方が広まり、資源量は年々増加しています。しかしごみの量も増加しています。ごみを増やさないように考えながら買物をするなど、個々で工夫しましょう!

PRIVATE